

アンケートで出された議論・情報共有のテーマ

※下線部_____は、今回会議で扱うテーマ

(エネルギー政策全般)

- ・エネルギー（電力、ガス）供給システム改革のメリット、デメリット
- ・大阪府における電力の供給力拡大に向けた取組み
- ・エネルギー基本計画見直しに向けた議論の状況 ⇒資料 1-2

(エネルギーと経済)

- ・エネルギー価格（電気、化石燃料とも）高騰の影響 ⇒議事(3)
- ・省エネ推進と経済成長の両立

(再生可能エネルギー)

- ・太陽光発電の使用済みパネルに含まれる重金属の処理の問題 ⇒資料 1-3
- ・都市部においてポテンシャルのある中小水力やバイオマス(ごみ発電等)の活用
⇒議事(4)

(家庭部門)

- ・省エネ、再エネに関心をもってもらうための情報の発信方法
- ・エネルギーの見える化サービスの普及拡大方策やその活用

(関西電力)

- ・電力需給に関する疑問や不明な点
- ・原子力発電の安全対策の実施状況

(その他)

- ・行政～事業者～市民などの連携した取組
- ・関西広域連合の動き

(参考) アンケート結果

【質問 1】6月13日の各組織の発言や資料をもとに、各組織に聞きたいことなどありましたらご記入ください。

○各組織共通（それぞれに聞いてみたいこと）

- ・エネルギー価格(電気、化石燃料とも)高騰の影響は。
- ・行政～事業者～市民などの連携が進められていること。あるいは今後の取組みとして考えられることなど、色んな組織から参加している事を活かした話し合いができればいい。

○大阪府に対して

- ・原発に代わる発電所の新規建設を推進する方針が打ち出されているが、進捗状況はどうなっているのか。

○府下の市町（大阪市、堺市、貝塚市、河南町）に対して

- ・太陽光パネルなどには人体や環境に影響をおよぼす重金属類が含まれており、今後、使用済みパネルの処理が問題となってくるとされる。現時点での対応をお聞かせいただきたい。
- ・自治体は、省エネ推進と経済成長を両立させることができるのかとの考えだと思うが、その可能性についてはどのように検証、評価、判断しているのか。また、啓蒙活動だけでなく、金、人、物を投資してもでも両立させるという意識が必要ではないか。
- ・余力があると思われる家庭の省エネ推進を図る手立てとしてどのようなことを考えているのか。
- ・再エネ普及の可能性、また、その電源としてのポテンシャル、産業育成という観点での自治体発展(税収、雇用)の可能性はどのように評価、判断しているのか。

○府民団体（大阪府生活協同組合連合会、なにわの消費者団体連絡会）に対して

- ・今後、家庭分野の省エネを徹底していく上で、消費者にどこまで負担を強いる意識があるのか。

○事業者団体(関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会)に対して

- ・エネルギー価格(電気、化石燃料とも)高騰の影響は。

○エネルギー供給事業者（関西電力、大阪ガス）に対して

- ・エネルギー(電力、ガス)供給システム改革に向けた議論が進んでいるが、メリット、デメリットを客観的に教えてほしい。

○近畿経済産業局に対して

- ・エネルギー基本計画見直しに向けた議論の状況をタイムリーに教えてほしい。

【質問2】今後、協議会にてどのようなテーマを取り上げてほしいですか。

- ・広域連合の動き等（メンバーの共通認識として）
- ・各団体等の課題（非公開で）
- ・家庭での省エネ、再エネに関心をもってもらうための情報の発信方法
- ・エネルギーシステム改革
- ・家庭におけるエネルギーの使用実態の見える化サービスの普及拡大方策やその活用
- ・都市部においてポテンシャルのある、中小水力(上下水道施設内の落差を利用)、バイオマス(ゴミ発電や下水汚水の活用等)といった再生可能エネルギー

【質問3】協議会の進め方についてご意見があればお願いします。

- ・スマートエネルギー協議会で一定のアウトプットを出せるようなものは可能か。
- ・取組みや意見集約・提言
- ・各参加団体の関係団体等への情報発信・提供等
- ・内容によりメンバーの変更、追加等は可能か。
- ・各組織間の協働で何がやれるのか、初回が終わったばかりの現時点では掴みきれない。
- ・弊社は、皆さまに節電のご協力をいただけるよう、電力需給について説明をさせていただいているが、説明が不足している点、疑問に思われる点があれば、ご指摘いただきたい。
- ・原子力発電に関する様々なご不安やご質問があろうかと存じる。ご要望があれば、震災以降、弊社が実施している安全対策の実施状況等の説明、ご質問への回答をさせていただく。